

# 令和 4 年度 予算施策評価表

様式1

施策名	自然環境と生物多様性の保全				予算施策コード	kk16	
担当部局名	県民環境部	環境局	自然保護課	評価責任者	課長 秋川 裕一郎	連絡先	2366

## 1 施策の内容

施策の目標	自然環境と生物多様性の保全により、県民が自然との共生を図ることができる社会をつくる。
-------	--

これまでの取り組み	<p>優れた自然環境の保全に関しては、自然公園等における各種行為の規制、自然保護パトロール等巡視活動、県民総ぐるみの清掃活動、鳥獣保護区設定等による鳥獣の適正管理、公益財団法人動物園協会の協力による傷病鳥獣の保護等を行い自然環境の保全に取り組んでいる。</p> <p>自然とのふれあいの推進に関しては、自然公園や四国のみちにおける休憩所、便所、標識等の整備、自然観察会の開催のほか、自然環境の保全に責任を持った持続可能な自然の利用のあり方として「エコツーリズム」を推進している。</p> <p>また、生物多様性の保全に関しては、平成29年2月に策定した「第2次生物多様性えひめ戦略」に基づき、「人と自然が共生する豊かな自然と文化が育まれる地域社会」の実現を目指し、平成24年度に設置した「生物多様性センター」及び市町や団体とも連携し、関連施策を総合的・計画的に推進している。</p>
-----------	---

## 成果指標名(目標の達成度合いを示す指標)

A	自然公園、四国のみちの利用者数				B	鳥獣保護管理法違反件数					
選択理由	利用者数の推移から、自然環境の保全状況、施設整備の事業効果が計れるほか、自然との共生の実現の度合いを知ることができる。				選択理由	違反件数の推移から、自然保護の意識啓発の効果を測定できる。					
算定方法	市町調べによる。				算定方法	県が法律違反情報を確認した数(警察からの法律違反被疑事件送致通知書を含む)。					
成果と指標の関係	中	指標の種類 (ストック/フロー)	フロー	指標の種類 (プラスマイナス)	+	成果と指標の関係	弱	指標の種類 (ストック/フロー)	フロー	指標の種類 (プラスマイナス)	-

指標・事業費・人件費の推移												
区分	成果指標A			成果指標B			事業費(予算)				事業費(決算)	人件費
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算計	国費	その他	県費		
単位	千人		%	件		%	千円					
2年度	5750	3545	61.7%		7		272,326	171,273	30,019	71,034	251,506	87,289
3年度	5750	3295	57.3%		3		163,600	82,021	34,446	47,133	137,111	70,785
4年度	5750	3897	67.8%			-	188,506	99,500	38,691	50,315	159,648	69,866

## 2 施策の評価

県の関与の必要性		中	説明	<p>自然公園等、自然の優れた風景地の保護及び鳥獣保護管理は、法律、条例により県の責務として定められているほか、生物の多様性の保全に関する総合的な施策を策定し、実施することについても同様に定められている。</p> <p>また、県内で自然景観、野生動植物の保護等について、民間の活動団体等が個別に実施している実態はあるものの広域的かつ統一的に実施されている活動はなく、全県を対象に効率的かつ効果的に推進するためには、県の積極的な関与が必要である。</p>							
成果指標A	横這い			説明	<p>開発行為等の許認可や自然保護活動の継続等により、自然の優れた風景地が守られている。</p> <p>しかしながら、自然公園施設の適切な管理による利用者の安全確保や利便性の向上については、近年の厳しい予算状況等から十分な維持修繕を行うことができず、一部の施設は立入禁止等の措置をとっている。</p> <p>このため、エコツーリズムの推進や効率的な予算執行により、利用施設の適切な管理や県民ニーズに対応した施設整備に努めることで、一定程度の向上が可能である。</p>						
成果向上余地	成果向上が可能	説明	<p>鳥獣保護管理員を県内各地に52名設置し、定期的な巡回を実施するとともに、狩猟者への指導や取締りを実施している。</p> <p>鳥獣保護管理員には、違反行為の取締りのほか、鳥獣保護の普及啓発など、広範な対応が求められるが、経費面の問題があるため、活動が限られている。事業費を増額し、鳥獣保護管理員の活動日数を増やし、活動内容の拡充を図ることができれば、一定程度の違反行為の抑制が期待される。</p> <p>また、自然環境の保全と自然公園等の適正利用等を図るため、自然保護指導員を90名設置し、自然公園のパトロールと利用者の指導を行っている。</p>								
成果指標B	横這い		説明	<p>鳥獣保護管理員を県内各地に52名設置し、定期的な巡回を実施するとともに、狩猟者への指導や取締りを実施している。</p> <p>鳥獣保護管理員には、違反行為の取締りのほか、鳥獣保護の普及啓発など、広範な対応が求められるが、経費面の問題があるため、活動が限られている。事業費を増額し、鳥獣保護管理員の活動日数を増やし、活動内容の拡充を図ることができれば、一定程度の違反行為の抑制が期待される。</p> <p>また、自然環境の保全と自然公園等の適正利用等を図るため、自然保護指導員を90名設置し、自然公園のパトロールと利用者の指導を行っている。</p>							
成果向上余地	成果向上が可能	説明		<p>鳥獣保護管理員を県内各地に52名設置し、定期的な巡回を実施するとともに、狩猟者への指導や取締りを実施している。</p> <p>鳥獣保護管理員には、違反行為の取締りのほか、鳥獣保護の普及啓発など、広範な対応が求められるが、経費面の問題があるため、活動が限られている。事業費を増額し、鳥獣保護管理員の活動日数を増やし、活動内容の拡充を図ることができれば、一定程度の違反行為の抑制が期待される。</p> <p>また、自然環境の保全と自然公園等の適正利用等を図るため、自然保護指導員を90名設置し、自然公園のパトロールと利用者の指導を行っている。</p>							
参考：構成事務事業の評価の平均値	成果動向		2.25	順調・向上	成果向上余地	1.86	成果向上が可能				

4-1 事務事業管理シート（評価対象事業）

予算施策名

kk16

自然環境と生物多様性の保全

1 自然公園等施設整備事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり																
指標種類1	指標名称1			単位	計画	4808	4808	4808	/	予算	事業費計	59,121	33,495	43,410	71,494	評価	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり															
成果	+	70-	自然公園利用者数	千人	実績	2985	2772	3381			国費	23,850	11,950	25,000	39,127					新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一時的な利用者数の減少がみられるが、四国のみちの看板整備等を実施。施設整備数が増加している。														
					達成率	62.08%	57.65%	70.32%			その他	4,500	9,000	9,000	9,000																			
					計画	7	7	7			県費	30,771	12,545	9,410	23,367																			
指標種類2	指標名称2			単位	計画	7	7	7			決算	事業費計	55,017	32,500	32,168						見直し 方向性	このまま継続												
活動	+	70-	施設整備箇所数	箇所	実績	10	11	11				国費	22,130	11,929	15,117										方向1	このまま継続								
					達成率	142.86%	157.14%	157.14%		その他		4,500	8,867	8,441	方向2																			
					計画					県費		28,387	11,704	8,610					方向3															
指標種類3	指標名称3			単位	計画					人役		0.6	0.8	0.8																	方向1	このまま継続		
実施 期間	S36	初期	終期	事業の概要	実績					人件費		4,060	4,840	4,777																				
					達成率	-	-	-		自然とのふれあいを求める県民ニーズの高まりに対処し、優れた自然環境にある自然公園の利用を促進し、ゆとりと潤いのある県民生活を実現していくため、公園利用施設を整備する。	方向3																							
					計画																方向1	このまま継続												

2 石鎚山系地域資源活用共生事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり																
指標種類1	指標名称1			単位	計画	427	427	427	/	予算	事業費計	10,439	8,161	8,161	10,161	評価	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり															
成果	+	70-	石鎚国定公園の利用者数	千人	実績	301	282	283			国費	3,259	2,911							新型コロナウイルスの影響で石鎚国定公園の利用者及びエコツアー参加者は一時的に減少したものの、新たにエコツアーガイドの認定制度を創設し、ガイドの養成等を通じて、ツアーの質向上を図っていることから、エコツアー参加者は増加に転じているなど、成果の向上が期待される。														
					達成率	70.49%	66.04%	66.28%			その他	1,000	1,000	1,799	1,799																			
					計画	4000	5000	5000			県費	6,180	4,250	6,362	8,362																			
指標種類2	指標名称2			単位	計画	4000	5000	5000			決算	事業費計	7,438	4,110	7,467						見直し 方向性	このまま継続												
成果	+	70-	エコツアー参加者数	人	実績	5199	4055	5462				国費	1,967	0											方向1	このまま継続								
					達成率	129.98%	81.10%	109.24%		その他		1,000	1,000	1,270	方向2																			
					計画					県費		4,471	3,110	6,197					方向3															
指標種類3	指標名称3			単位	計画					人役		0.7	0.7	0.7																	方向1	このまま継続		
実施 期間	H27	初期	終期	事業の概要	実績					人件費		4,737	4,235	4,180																				
					達成率	-	-	-		本県の自然を象徴する石鎚国定公園を舞台に、エコツーリズムの推進や石鎚山ヒルクライムの開催支援を継続するとともに、市町と連携して希少野生植物等の保全対策を新たに講じ、石鎚山系の優れた自然景観と豊かな生物多様性の保全を図る。	方向3																							
					計画																方向1	このまま継続												

3 生物多様性普及強化事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり																
指標種類1	指標名称1			単位	計画	9	9	9	/	予算	事業費計	5,371	5,371	5,371	0	評価	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり															
成果	-	70-	絶滅のおそれのある野生動物の割合	%	実績	9	9	9			国費									R2年度の県政世論調査では生物多様性の認識度(知っている・聞いたことがある)は52.7%であったが、R4年度の県政世論調査では60.4%に増加した。引き続き、「生物多様性」の意義の理解促進を図り、認知度をさらに向上させ、多様な主体による保全活動等を推進することが必要である。														
					達成率	100.00%	100.00%	100.00%			その他	5,371	5,371	5,371	0																			
					計画	60	60	60			県費																							
指標種類2	指標名称2			単位	計画	60	60	60			決算	事業費計	4,667	5,034	5,175						見直し 方向性	統合												
成果	+	70-	生物多様性の認識度	%	実績	52.7	52.7	60.4				国費													方向1	統合								
					達成率	87.83%	87.83%	100.67%		その他		4,667	5,034	5,175	方向2																			
					計画	300	300	300		県費									方向3															
指標種類3	指標名称3			単位	計画	300	300	300		人役		0.4	0.4	0.4																	方向1	統合		
活動	+	70-	高校生チャレンジシップ参加者数	人	実績	250	576	200		人件費		2,707	2,420	2,389																				
					達成率	83.33%	192.00%	66.67%		令和5年度からは「生物多様性えひめ戦略推進事業費」へ統合	方向3																							
					計画																方向1	統合												
指標種類3	指標名称3			単位	計画				方向2																									
実施 期間	H30	R8	初期	終期	事業の概要	実績													平成29年2月に策定した「第2次生物多様性えひめ戦略」に基づき、生物多様性の重要性の普及及び人材育成を促進するため、学校における生物多様性に係る学習活動の支援と、企業の参画を促す仕組みづくりを行う。	方向3														
						達成率																						方向1	統合					
						計画																										方向2		

4 生物多様性えひめ戦略推進事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり						
指標種類1	指標名称1			計画	9	9	9			予算	事業費計	9,333	9,244	8,398	21,534	評価	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり					
成果	-	70-	絶滅のおそれのある野生動植物の割合	%	実績	9	9				9	国費									R2年度の県政世論調査では生物多様性の認識度(知っている・聞いたことがある)は52.7%であったが、R4年度の県政世論調査では60.4%に増加した。引き続き、「生物多様性」の意義の理解促進を図り、認知度をさらに向上させ、多様な主体による保全活動等を推進することが必要である。			
					達成率	100.00%	100.00%				100.00%	その他	2,852	2,852	1,641					13,401				
					指標種類2	指標名称2					計画	60	60	60	事業費計					6,903		6,861	7,418	
成果	+	70-	生物多様性の認識度	%	実績	52.7	52.7				60.4	国費								見直し 方向性		方向1	このまま継続	
					達成率	87.83%	87.83%				100.67%	その他	1,924	2,158	1,588									
指標種類3	指標名称3			計画	10	10	10			事業費計	6,903	6,861	7,418	方向2										
活動	+	70-	研修会、ワークショップ等開催回数	回	実績	11	7			10	国費				方向3									
					達成率	110.00%	70.00%			100.00%	その他	4,979	4,703	5,830										
					指標種類1	指標名称1				計画	100	100	100	人役		3	3	3						
実施 期間	始期	終期	事業の概要							人件費	20,298	18,150	17,913											
	H24		「第2次生物多様性えひめ戦略」に基づき、県民、NPO等民間団体、企業等事業者、行政などそれぞれの主体が目標を共有し協働・連携して、本県の生物多様性を保全し、その恵沢を将来にわたって享受できる自然と共生する社会の実現を図る。																					

5 自然観察会開催事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり						
指標種類1	指標名称1			計画	100	100	100			予算	事業費計	1,729	1,676	1,676	0	評価	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり					
成果	+	70-	定員充足率 (応募人数/定員)	%	実績	76.3	99				117	国費									自然観察会への参加を契機として、県民の自然保護意識が高揚し、地域住民による生物多様性保全活動が広がり、定着することを中・長期的な目標としていることから、参加者の満足度が高い当該事業は、順調に実施されていると判断している。人数についても、実施内容にもよるが、学習の充足や安全面への配慮から、県単独では1回20~30名が適当と考えており、順調に推移している。また、生物多様性センターがこれまで実施してきた調査実績等を考慮してテーマや開催場所を選定しており、県が行う自然保護施策全体の効果向上も図れているが、地域のNPO法人等との協働により、内容の更なる充実や地域における拡がり等が期待される。			
					達成率	76.30%	99.00%				117.00%	その他	1,729	1,676	1,676					0				
					指標種類2	指標名称2					計画	100	100	100	事業費計					1,052		1,650	1,599	
成果	+	70-	参加者の満足度	%	実績	98.9	97.8				98.2	国費								見直し 方向性		方向1	統合	
					達成率	98.90%	97.80%				98.20%	その他	1,052	1,650	1,599									
指標種類3	指標名称3			計画	9	9	9			事業費計	1,052	1,650	1,599	方向2										
活動	+	70-	開催回数	回	実績	10	11			15	国費				方向3									
					達成率	111.11%	122.22%			166.67%	その他													
					指標種類1	指標名称1				計画	100	100	100	人役		1.7	0.8	0.8						
実施 期間	始期	終期	事業の概要							人件費	11,503	4,840	4,777	令和5年度からは「生物多様性えひめ戦略推進事業費」へ統合										
	H18	R8	自然環境保全に対する県民意識の高揚を図るため、次代を担う青少年など広く一般県民を対象に、豊かな生態系を育む森林等において、植樹等の自然再生活動体験や野外学習、環境教育等を行う自然観察会を開催する。																					

6 外来生物対策事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり						
指標種類1	指標名称1			計画	100	100	100			予算	事業費計	3,232	3,151	2,836	0	評価	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり					
成果	+	70-	外来生物への対策取組み率	%	実績	54.5	80				66.7	国費									研修会の参加者であり、外来生物対策の核となる市町担当者等へのアンケート結果により算出している。外来生物対策は初期対応が重要となることから、実践に則した満足度の高い研修を継続的に実施し、関係機関と連携していくことが重要となる。			
					達成率	54.50%	80.00%				66.70%	その他	1,852	1,855	1,905					0				
					指標種類2	指標名称2					計画	100	100	100	事業費計					1,756		2,540	2,422	
成果	+	70-	研修参加者の満足度	%	実績	86.3	100				97.3	国費								見直し 方向性		方向1	統合	
					達成率	86.30%	100.00%				97.30%	その他	981	1,738	1,801									
指標種類3	指標名称3			計画	6	6	6			事業費計	1,756	2,540	2,422	方向2										
活動	+	70-	関係機関との連携件数	回	実績	9	6			7	国費				方向3									
					達成率	150.00%	100.00%			116.67%	その他	775	802	621										
					指標種類1	指標名称1				計画	100	100	100	人役		1.9	1.9	1.9						
実施 期間	始期	終期	事業の概要							人件費	12,856	11,495	11,345	令和5年度からは「生物多様性えひめ戦略推進事業費」へ統合										
	R2		生物多様性の危機の一つである「外来生物」について、生息・生育状況や生態系への影響等を調査するとともに、市町とも連携した定着を未然に防ぐための対策推進及び事業者等県民を対象とした普及啓発活動を行い、県民総ぐるみで外来生物対策を推進する。																					

7 自然公園等管理費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり						
指標種類1	指標名称1			単位	計画	4808	4808	4808		事業費計	4,444	4,479	4,480	0	評価	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一時的な利用者数の減少がみられるが、近年の健康志向や自然回帰などの傾向により、コロナ収束後には利用者数の増加が見込まれる。								
成果	+	70-	自然公園の利用者	千人	実績	2985	2772	3381			国費								見直し方向性	方向1	統合	方向2	方向3	
					達成率	62.08%	57.65%	70.32%			その他	2,767	2,767	2,767										0
指標種類2	指標名称2			単位	計画	942	942	942		事業費計	4,167	4,203	4,268	決定	方向1	統合	方向2	方向3						
成果	+	70-	四国のみちの利用者	千人	実績	560	523	516			国費									見直し方向性	方向1	統合	方向2	方向3
					達成率	59.45%	55.52%	54.78%			その他	2,640	2,640						2,637					
指標種類3	指標名称3			単位	計画	180	180	180		事業費計	1,677	1,712	1,713	決定	方向1	統合	方向2	方向3						
活動	+	70-	公衆便所の清掃回数	回	実績	180	180	180			国費									見直し方向性	方向1	統合	方向2	方向3
					達成率	100.00%	100.00%	100.00%			その他	1,527	1,563						1,631					
実施 期間	始期	終期	事業の概要							人役	0.4	0.4	0.4	見直し方向性	方向1	統合	方向2	方向3						
	S57		自然公園及び四国のみちの利用者の安全と適正で快適な利用を確保するために必要な施設の維持管理等を実施する。							人件費	2,707	2,420	2,389						令和5年度からは「自然公園等保全利用促進費」へ統合					

8 狩猟免許費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり						
指標種類1	指標名称1			単位	計画	6000	6000	6000		事業費計	6,823	12,322	10,770	0	評価	銃所持規制の強化等により、狩猟免許所持者、狩猟者登録者数ともに横ばいの状況が続いている。狩猟制度に関する普及啓発、狩猟免許取得経費への助成等を図ることにより、成果向上の余地はあると考えられる。								
成果	+	ストック	狩猟免許所持者数	人	実績	5648	5483	5594			国費								見直し方向性	方向1	統合	方向2	方向3	
					達成率	94.13%	91.38%	93.23%			その他	748	1,025	900										0
指標種類2	指標名称2			単位	計画	5000	5000	5000		事業費計	6,075	11,297	9,870	決定	方向1	統合	方向2	方向3						
成果	+	70-	狩猟免許登録者数	人	実績	4243	4252	4231			国費									見直し方向性	方向1	統合	方向2	方向3
					達成率	84.86%	85.04%	84.62%			その他	615	900						868					
指標種類3	指標名称3			単位	計画	1108	2475	935		事業費計	5,299	9,263	8,929	決定	方向1	統合	方向2	方向3						
活動	+	70-	狩猟免許更新合格者数	人	実績	1079	2411	1064			国費									見直し方向性	方向1	統合	方向2	方向3
					達成率	97.38%	97.41%	113.80%			その他	5,299	9,263						8,929					
実施 期間	始期	終期	事業の概要							人役	0.9	0.9	0.9	見直し方向性	方向1	統合	方向2	方向3						
	S54		野生鳥獣の保護管理や有害鳥獣の主要な担い手である狩猟者の育成・確保を図る。							人件費	6,090	5,445	5,374						令和5年度からは「鳥獣保護管理事業費」へ統合					

9 特定鳥獣保護管理計画推進事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり						
指標種類1	指標名称1			単位	計画	30000	30000	33000		事業費計	30,660	28,500	28,500	30,000	評価	捕獲の担い手の中心的な役割を果たしてきた狩猟者の高齢化、減少により、捕獲の担い手の横ばい状態が続いているが、令和2年度には初めて、イノシシの捕獲数が計画の30000頭を上回った。狩猟者の確保対策、指定管理鳥獣捕獲等事業費の増加を図ることにより、成果向上の余地はあると考えられる。								
成果	+	70-	イノシシの捕獲頭数（狩猟、有害鳥獣含む）	頭	実績	31559	26956	R5年10月頃			国費	20,919	19,180	19,550					21,050	見直し方向性	方向1	このまま継続	方向2	方向3
					達成率	105.20%	89.85%	-			その他	9,200	6,900	6,900					6,900					
指標種類2	指標名称2			単位	計画	11000	11000	11000		事業費計	541	2,420	2,050	2,050	決定	方向1	このまま継続	方向2	方向3					
成果	+	70-	ニホンジカの捕獲頭数（狩猟、有害鳥獣含む）	頭	実績	10202	10810	R5年10月頃			国費	18,160	15,406	14,928						見直し方向性	方向1	このまま継続	方向2	方向3
					達成率	92.75%	98.27%	-			その他	8,866	3,905	4,661										
指標種類3	指標名称3			単位	計画	1	2	1		事業費計	541	1,847	1,040	決定	方向1	このまま継続	方向2	方向3						
活動	+	70-	特定鳥獣適正管理検討委員会の開催回数	回	実績	1	2	1			国費									見直し方向性	方向1	このまま継続	方向2	方向3
					達成率	100.00%	100.00%	100.00%			その他	541	1,847						1,040					
実施 期間	始期	終期	事業の概要							人役	0.2	0.2	0.2	見直し方向性	方向1	このまま継続	方向2	方向3						
	H21	R8	農林業被害が大きいイノシシ、ニホンジカ及びニホンザルについて、鳥獣保護管理法に基づき適正管理計画を定め、狩猟の規制緩和による生息数の維持や、モニタリングにより計画内容について検討し、農林業被害の軽減を図る。							人件費	1,354	1,210	1,195											

10 石鎚土小屋ロータリー園地管理費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり			
指標種類1	指標名称1			単位	計画	382	382	382		予算	事業費計	2,821	3,137	3,687	2,917	評価	自然公園全体の利用者については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により一時的な利用者数の減少がみられるが、石鎚山土小屋ルートは利用者数が増加している。				
成果	+	70-	石鎚国定公園の利用者数(久万高原町)	千人	実績	188	175	180			国費										
					達成率	49.21%	45.81%	47.12%			その他										
					計画	35	35	35			事業費計	2,808	3,102	3,629	見直し方向性					方向1	このまま継続
活動	+	70-	清掃回数(4月~11月、土小屋ロータリー園地便所)	回	実績	35	35	35			国費									方向2	
					達成率	100.00%	100.00%	100.00%			その他									方向3	
指標種類3	指標名称3			単位	計画	34	34	34		人役	0.1	0.1	0.1								
活動	+	70-	保守点検回数(4月~11月、土小屋ロータリー園地便所)	回	実績	34	34	34		人件費	677	605	598								
					達成率	100.00%	100.00%	100.00%													
実施期間	始期	終期	事業の概要																		
	H13		自然公園の利用者の安全と適正で快適な利用を確保するために、必要な施設の維持管理を実施する。																		

11 自然環境保全行政費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余 地が小さい			
指標種類1	指標名称1			単位	計画	1	1	1		予算	事業費計	580	580	580	1,632	評価	違反件数が1件であったため、このまま違反件数が低い水準が維持できるよう努めてまいります。				
成果	-	70-	自然公園、自然海浜保全地区における違反件数	件	実績	3	2	1			国費										
					達成率	33.33%	50.00%	100.00%			その他										
					計画	36	36	36			事業費計	456	457	433	見直し方向性					方向1	このまま継続
活動	0	スタッフ	自然公園、自然海浜保全地区等の指定箇所数	箇所	実績	36	36	36			国費									方向2	
					達成率	-	-	-			その他									方向3	
指標種類3	指標名称3			単位	計画	70	70	70		人役	1	1	1								
活動	0	70-	自然公園等の許認可件数	件	実績	62	53	47		人件費	6,766	6,050	5,971								
					達成率	-	-	-													
実施期間	始期	終期	事業の概要																		
	S47		良好な自然環境を保全し、将来にわたって県民の健康で文化的な生活の確保を図るため、自然環境保全地域、自然公園及び自然海浜保全地区内における各種行為の許認可、届出等の事務等一般的な自然環境保全行政に要する経費である。																		

12 自然保護協会費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余 地が小さい			
指標種類1	指標名称1			単位	計画	1900	1900	1900		予算	事業費計	1,052	1,052	1,052	0	評価	コロナの影響により、規模縮小による参加者の減少はみられたが、コロナ収束後は回復の見込みである。				
成果	+	70-	自然公園清掃活動事業の清掃参加者数	人	実績	1865	1568	1770			国費										
					達成率	98.16%	82.53%	93.16%			その他										
					計画	2500	2500	2500			事業費計	933	921	938	見直し方向性					方向1	統合
活動	+	70-	国立公園清掃活動事業の清掃実施地域の面積	ha	実績	2268	2268	2268			国費									方向2	
					達成率	90.72%	90.72%	90.72%			その他									方向3	
指標種類3	指標名称3			単位	計画					人役	0.7	0.7	0.7								
実施期間	始期	終期	事業の概要																		
	S51		県内の優れた風景地を保護するとともに、自然保護思想の普及と高揚を図ることを目的とし、県、市町、民間企業、関係団体、一般県民で構成する「愛媛県自然保護協会」に助成する。														令和5年度からは「自然環境保全行政費」へ統合				



4-2 事務事業管理シート（評価対象外事業）

予算施策名

kk16

自然環境と生物多様性の保全

1 自然公園利用促進環境整備事業費		コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度
評価対象外の理由	予算	事業費計	0	0	54,950	0	事業費計	0	0	50,138
単年度事業		国費			54,950		国費			50,138
評価対象外その他の理由(記述)		その他					その他			
		県費					県費			
		人役					人役			
	人件費					人件費				
2 大洲肱川・四国のみち利用促進事業費		コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度
評価対象外の理由	予算	事業費計	0	0	2,000	0	事業費計	0	0	2,000
単年度事業		国費					国費			
評価対象外その他の理由(記述)		その他			2,000		その他			2,000
		県費					県費			
		人役					人役			
	人件費					人件費				
3 A I 活用生き物探求支援事業費		コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度
評価対象外の理由	予算	事業費計	0	0	4,732	0	事業費計	0	0	4,616
単年度事業		国費					国費			
評価対象外その他の理由(記述)		その他			4,732		その他			4,616
		県費					県費			
		人役					人役			
	人件費					人件費				



